

みどりの杜俳句会



庭池の脇に南天実付き良し	梅沢喜久江
玄関に蓄かたまるシクラメン	西ツル
山茶花の名残の花や小蜂来る	梅澤時江
早朝の体の冷えや衿寄せる	鈴木啓子
換気する窓より山の風寒し	田村好子
気に入りのオーバー羽織り朝の道	吉田愛子
草生うる土押し上げて霜柱	有賀袈裟江
ひと風に音立て銀杏黄葉散る	初雁功子
山の家の瓦定かに冬の月	小宮勉
綿虫の日向へ飛んで光りけり	山田美子

人権シリーズ

【先生って、女人の人だつたんですか？】

冬のある日、本当に驚いた表情のAさんに言われた。周囲の子供たち、Aさん、私はそれぞれ別の驚きがあつた。

周囲にいた子供たちは「Aさん、知らなかつたの？」と感じたのだという。私は「どうしてそう思つたのだろう？」と思つた。Aさんに尋ねてみると、Aさんの思う女の人は髪を長く伸ばし、柔らかな色味の洋服でスカートをはいて、リボンや花柄のものを身に付けているはずだと話してくれた。なるほど、と合点がいつた。

良いとか悪いとかではなく、Aさんの思う女性像があつたのだと気付くことができた瞬間だつた。

現代に生きる私たち、一昔前に比べると性別などの思い込みなどに左右されることは少なくなつてきたものの、時々は思い返さなくてはいけないのかもしれない。1980年代に男女雇用機会均等法が制定されたとき、男女は同権。しかし、性差による身体的な違いはあると発言した方もいた。今年、令和8年は丙午の年。この年の生まれの女性は「気性が荒く、夫の寿命を縮める」「気が強く、夫を喰い殺す」などと、いう江戸時代に生まれた迷信がある。このような迷信をふわりと乗り越え、男性・女性関係なく「自分らしく」「自由に」「好きなもの」を選択しながら生きられるような社会づくりができる年になるよう祈りたい。

(433)

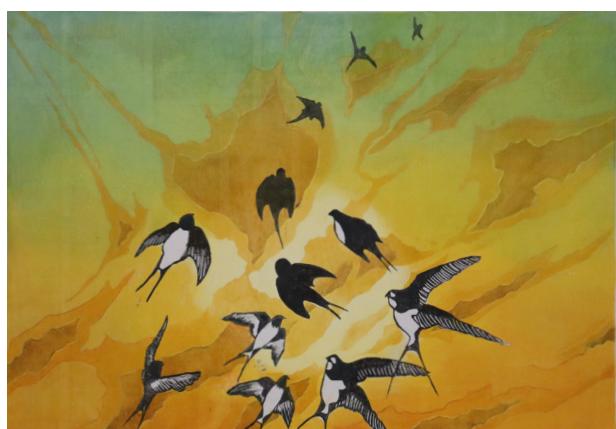
Literary Corner

文部省

アートの世界

毎年、燕が向かいの家に巣を作ります。窓からその様子を眺めている場と、親燕が子燕に餌を与えている場面を目にすることもあります。

この作品は、巣立ちの時を迎えた燕の姿を描いたものです。



アートの世界
「越冬」
作者
山崎正子さん(御堂)
版画を楽しむ会